

生徒が働く経験をするために

「現場実習」の場を与えてください

わかば支援学校は、知的障害を有する児童生徒が学ぶ学校です。高等部では、1年生から3年生まで112人の生徒が学んでいます。生徒は、普通科の課程における学習を行っています。社会自立に向けた知識や技能を習得するため、「進路学習」「作業学習」という授業で学びを深め、「産業現場等における実習」で体験を通して力を高めています。

生徒は「卒業後の夢の実現」に向かって一步一步進んでおります。是非、夢を現実に近づける支援をお願いします。

実習の目的

- 社会生活に必要な基礎的・基本的な知識、技能、態度及び習慣を身につける機会とする。
- 地域社会の中で、多様な職場に関心を持ち、実際の社会生活を体験する機会とする。
- 進路選択に役立てると共に、卒業後の生活に向けて意欲と見通しをもつ機会とする。



実習について

- 5月中旬と9月下旬の年2回、2週間ずつ行います。
- 通勤途上や実習中のケガに関わる補償等は保険で対応しますので、事業所にご迷惑はおかけしません。
- 実習は学校教育の一環として行うものですから、報酬等については一切お断りいたします。
- 必要に応じて、生徒が慣れるまで職員が付き添い、支援を行うこともあります。
- 障害者雇用の計画がある事業所につきましては、実習を通して雇用が可能かどうか、適性を判断して頂きます。
- 障害者雇用を行う場合は、法律上の様々なメリットがあります。詳しくはハローワークまでお問い合わせください。

ご連絡をお待ちしています

山梨県立わかば支援学校

南アルプス市有野3346-3

TEL 055-285-1750

問い合わせ窓口：進路指導係

